

2025 年度

自己点検・自己評価報告書

東京桜ヶ丘学院

日本語教育機関告示基準に基づき、運営の適切性の確認と課題発見、そして改善につなげるこ  
と、また学生が安心して学べ、信頼でき、魅力ある機関にするために自己点検及び自己評価を下記  
の通り実施した。

また、本自己点検及び自己評価については評価資料、会議記録、聞き取り等に基づいて評価した。

**【対象期間】**

2025年4月1日～2026年3月31日

**【評価項目】** ※一般財団法人日本語教育振興協会作成

「日本語教育機関のための自己点検・評価項目(2025年版)」に基づく

1. 教育の理念・目標と、その具体化のための方策
2. 日本語教育機関の運営
3. 情報公開
4. 入学者の募集と選考
5. 教育活動
6. 教職員育成
7. 学生支援
8. 施設・設備
9. 地域貢献・社会貢献
10. 財務

**【評価方法】**

A：達成されている・適合している

B：一部未達成

1年以内をめどに達成、適合に向けて確実である または 取り組んでいる

C：未達成・適合していない

×：該当していない

**【評価者】**

宮崎里司

**【報告書監修】**

河野和昌

五十嵐公宣

## 1. 教育の理念・目標と、その具体化のための方策

1.1 理念・ミッション
日本社会、母国に貢献できる人材を育てる
1.2 教育目標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語及び日本文化の指導</li> <li>・コミュニケーション力の育成</li> <li>・プレゼンテーション力の育成</li> </ul>
1.3 育成する人材像
日本社会、母国に貢献できる人材

1.4 「理念」と「目標」とが、お互いにどのように関連しあっているかを説明できる	A
--	---

達成状況、課題、改善計画等
<p>自国のアイデンティティを保持しながら、日本社会で生活するために必要な多様な力を幅広く身につけ、高度外国人材として両国の架橋となるような人物を育てます。そのために必要な日本語及び文化理解と相互行為のための力をつけることを目標としております。</p> <p>理念と教育目標が現場の意識と整合しているかの点検・改善・社内研修を行っております。</p>

## 2. 日本語教育機関の運営

2.1 認定日本語教育機関認定基準又は日本語教育機関の告示基準に適合していることを年 1 回以上確認している。	A
2.2 運営の透明性が確保されている。	A
2.3 運営に必要な情報が機関内の関係者間で共有されている。	A
2.4 運営にあたり法令を遵守している。	A

達成状況、課題、改善計画等
<p>学校運営についてより良くする為に職務内容及び責任と権限を明確に定め、かつ、教職員間で共有しております。運営や教育活動に必要な情報についても教職員間で共有できるよう、全体では半期、部署内で一か月、業務グループ間で週ごとの定期的な会議を設けました。また、その中で、機関の短期及び中長期目標を周知しております。管理、運営のための諸規程を整備し、規程に基づき、責任者を明確にしたことで、相談と報告、運営が効果を上げております。予算編成が</p>

適切に行われ、執行ルールが明確です。コンプライアンス意識向上のための勉強会を一回行った他、社内規程について二回、就業規則一回の勉強会を開きました。関係官庁への届出、報告を遅滞なく行っております。

### 3. 情報公開

3.1	機関の設置者、教育内容、定員、進路等の情報をホームページ等で公開している。	A
3.2	募集及び納付金に関する情報を公開している。	A
3.3	学生、入学志願者及び経費支弁者に対して、理解できる言語で情報提供を行っている。	A
3.4	情報は十分に整理されて公開されており、必要な情報がどこにあるかが分かりやすく示されている。	A
3.5	公開されている情報は常に最新のものに更新されている。	B

#### 達成状況、課題、改善計画等

HPを中心に正しく、分かりやすい情報を公開しております。また、Facebookでも随時イベントなどの様子を公開しております。今後も引き続き、正確な情報の公開と、迅速な更新を心がけます。3.5については、教務部と総務部から責任者を一名ずつ出し、月に一回社内情報のすり合わせを行った上で情報の公開をするよう計画いたします。

### 4. 入学者の募集と選考

4.1	適切な方法で入学者の募集を行っている。	A
4.2	適切な方法で入学者の選考が行われている。	A

#### 達成状況、課題、改善計画等

募集地域に応じて専門スタッフを配置し、情報提供や入学相談を行っております。入学志願者の希望と教育内容が合致していることを個別面接時に確認しております。面接時にZOOMによる試験を行い、入学志願者の学習能力が選考基準を満たしていることを確認しております。

### 5. 教育活動

5.1	教育目標に合致した教育活動の計画を作成している。	A
5.2	教育活動を適切に実施するための手立てを講じている。	B
5.3	授業を含む教育活動全体の検証を定期的かつ適切に行っている。	B

達成状況、課題、改善計画等

5.2、5.3 について、『日本語教育の参照枠』に基づき学生の熟達度を判定できる仕組みを整えている最中です。具体的には作文試験の導入や、Can-do ベースでの評価表の作成を行いました。学生にとっても何のためにこの勉強をしているのかが明確になったようで、質問にくる学生、図書館で勉強する学生が増えたことから、意欲や習得度に効果が見られます。今後は会話の試験にも着手する予定です。新しい試みが多いため、実践と振り返りを繰り返し、必要があれば、教材の変更を行うなど、より良い教育活動ができるよう改善を続けてまいります。

5.1 については教育目標に合致した教育活動計画を教務部内で年に一度作成しております。その教育活動計画に基づいた短期的・長期的な学習計画を担当から学生に伝え、学生自身に1年単位、3か月単位での学習目標を立てさせております。学習目標に基づいた学習計画を立てさせ、適宜学生面談を行いながら、自律的な学習のサポートを行っております。

評価については、学期ごとに評価基準と判定結果を学生に伝えております。今後は学生からの評価も含む、多方向的な評価システムや、評価システムの定期的な改善方法を計画します。

## 6. 教職員育成

6.1 教育力及び支援力強化のための取組を適切に行っている。	A
6.2 教職員の自己評価等を含む多方向的な教職員評価を行っている。	B

達成状況、課題、改善計画等

新任教員を対象に新任研修を行っております。また、所属する教職員を対象に他機関の実施する研修会を案内しております。昨年度はアスク出版から講師をお招きして会話中心の授業についての社内研修を行いました。

6.2 について今後は教育目標達成に必要な教職員の能力及び資質を明示し、評価の基準を定めて、開示できる仕組み、教職員の自己評価等を含む多方向的な評価システムを検討してまいります。

## 7. 学生支援

7.1 日本社会を理解し、一構成員として活動するための取組を適切に行っている。	A
7.2 進路指導を適切に行っている。	A
7.3 安全な留学生活を送るための適切な取組をしている。	A
7.4 入国・在留に関する指導及び支援を適切に行っている。	A

達成状況、課題、改善計画等

入学時と入学後の HR で留学生活に関する情報提供と指導を行っております。進路に関しては進路指導担当者を中心に、進路状況の管理表を作成し、全体で共有しているため、クラスが変わってもスムーズな引継ぎが行われております。毎年、防災訓練、交通・防犯講習を行い留学生のための安全を守る取り組みを行っております。

入国・在留に関する指導については事務局にて各母国語対応の職員を配置して学生支援を行っております。

## 8. 施設・設備

8.1 語学学習に適した施設・設備である。	A
8.2 学生及び教職員の安全を考慮し、適切な対処を行っている。	A

達成状況、課題、改善計画等

法令上必要な設備等を備えております。

バリアフリー対策については、今後の課題といたします。

## 9. 地域貢献・社会貢献

9.1 地域貢献、社会貢献となる活動を行っている。	A
---------------------------	---

達成状況、課題、改善計画等

地元社会福祉協議会へ参画しており、募金活動等学生が参加しております。

また、地元小学校と連携して交流会を行っております。

今後も継続する予定です。

## 10. 財務

10.1 日本語教育を継続的に行うために適切な財務状況である。	A
---------------------------------	---

達成状況、課題、改善計画等

財務状況は、中長期的に安定しており、予算・収支計画の有効性及び妥当性が保たれております。